

はじめに

ここ数年多発する自然災害は、安全で安心できる生活環境の実現に対する強い関心を引き起こし、それとともに身近なみどり環境への期待がますます大きくなっております。

北海道立林業試験場では、平成16年9月に発生した台風18号による暴風被害について、「平成16年台風18号による緑化樹の被害調査報告書」としてとりまとめ（平成17年3月）、さらに平成17年6月には、北海道水産林務部森林活用課と共同で、「風害に強い都市の緑化樹育成の指針」を作成して、公共緑化関係者に広く活用されております。

しかし、街路樹や公園樹等を風害から守るためには、上記指針や調査報告書の普及がさらに必要であり、「風害に強い都市のみどりづくり指針」として両者を1枚のCDに収めました。

本指針が身近なみどりの環境づくり推進の一助となれば幸いに存じます。

平成18年3月

北海道立林業試験場長 原田 輝治